

令和7年8月17日

—報道関係各位—

地方独立行政法人天王寺動物園
園長 向井 猛
担当：飼育展示課
☎06-6771-2151

天王寺動物園のメガネグマの死亡について

令和7年8月17日（日曜日）にメガネグマの「プッペ」（メス）が亡くなりました。

プッペは、平成5年1月19日にドイツ・ライプチヒ動物園で生まれ、よこはま動物園を経て平成28年3月22日に天王寺動物園に来園しました。

昨年から加齢の影響もあり徐々に食欲や運動量が落ちはじめ、今年の7月末頃からはそれが顕著になったため、バックヤードにて過ごしていました。状態に合わせて飼育環境を改善し、適宜投薬や皮下補液等を行ってきましたが、本日13時55分に死亡を確認しました。死因は現在調査中です。

なお、カラス等による被害を防ぐ観点から、献花台は設置しません。



令和元年6月4日撮影

○メガネグマ「プッペ」

- (1) 性別 メス
- (2) 出生日 平成5年1月19日（32歳）
- (3) 来園 平成28年3月22日
- (4) 死亡日時 令和7年8月17日（日）午後1時55分死亡確認

【参考資料】 ■メガネグマについて

和名	メガネグマ
英名	Spectacled Bear
学名	<i>Tremarctos ornatus</i>
分類	ネコ目クマ科
分布	エクアドル、コロンビア、ペルー、ベネズエラ西部、ボリビア
生態	クマ科で唯一南半球に生息するクマで、アンデス山脈の雲霧林や熱帯湿潤林、草原など幅広い環境に生息します。目の周囲や喉に白や黄白色の斑紋が入り、個体によってはメガネのように見えることが和名の由来です。 絶滅危惧種で個体数は減少傾向にあり、IUCN（国際自然保護連合）レッドリストはVU（絶滅危惧Ⅱ類）に分類されています。
当園飼育頭数	プッペの死亡により、当園で飼育するメガネグマはいなくなりました。

【天王寺動物園の概要】

- 所在地及びアクセス 〒543-0063 大阪市天王寺区茶臼山町1-108
各線「天王寺駅」「動物園前駅」「恵美須町駅」「新今宮駅」から徒歩約5分から10分
- 開園時間 9時30分から17時（入園は16時まで）5・9月の土・日・祝は18時まで（入園は17時まで）
注）休園日については[ホームページ](#)をご確認ください。
- 入園料 大人500円、小中学生200円
注）障がい者手帳をお持ちの方、大阪市内在住・在学の小中学生、大阪市内在住で65歳以上の方は無料（公的証明書の提示が必要です）